

# 交渉速報

J R 貨物労組 中央本部業務部

2019年5月14日

No.18

## 2019年度夏季手当を申し入れる 基準内賃金に家族手当を 加えた額×2.8カ月

回答指定日 6月13日 支払指定日 7月5日

### 2019年度 夏季手当第1回交渉報告

中央本部は、本日13時00分より申第9号「2019年度夏季手当の申し入れ」に基づく団体交渉を行ない、以下の項目を訴えました。

- ①昨年度は自然災害が相次いで発生し、中でも山陽線が100日間寸断され甚大な被害が出た。山陰線への迂回運転やトラック代行輸送の構内誘導など、不慣れな作業を担い運行確保に汗して、私たちのできることを最大限に発揮した。
- ②今年度から新制服の導入や新たな人事制度など施策がスタートしている。しかし、職場の実態は欠員問題や職場の設備など労働環境は一向に解決されていない。その結果、会社の将来展望に期待がもてない若年社員の退職が止まらない。
- ③今後の計画達成には組合員の協力が必要であり、モチベーションの更なる向上のために、経営陣は要求に対して満額回答で応え組合員に見える形で誠意を示すこと。

これに対して会社は次のように回答しました。

- ①昨年度の決算は明日（5月15日）にプレス発表されるが、昨年の西日本豪雨の影響は大きく、大幅な減収減益となった。
- ②中期経営計画が未達であり、鉄道事業部門の赤字だけでなく当期純利益は7年ぶりの赤字に転落した。
- ③貴組合の協力により多発した自然災害の中でも列車運行を確保できたことは理解している。申し入れの内容は真摯に受け止め、今後議論を進めたい。

会社の回答に対し中央本部は以下の点について指摘しました。

- ①4月からは中期経営計画2023が始まりJR貨物グループのブランドメッセージが策定された。新たな人事賃金制度が始まり、これから制度に「魂」を入れていくということであるが、社員が幸せにならなければ、どんな計画も絵に描いた餅になってしまう。
- ②7年ぶりの純利益赤字だが、相次ぐ自然災害の中においても組合員の努力により収入が確保できたのではないかと。会社経営陣はそのことを受け止めて交渉を積み重ねていくこと。

組合員のみなさん！本日より夏季手当交渉がスタートしました。中央本部は、組合員の切実な要求の実現にむけて職場闘争と結合し、不退職の決意で臨むことを明らかにして第1回交渉報告とします。

以上

次回、第2回交渉は5月22日（水曜日）です。